

事務事業マネジメントシート(令和 2年度実績と令和 3年度計画)

令和 3年 4月30日更新

事務事業名	小学生稲作体験助成事業					<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	6	産業の健康			所属部	産業振興部	課長名	右田 純司
	施策	26	農業の振興			所属課	農政課	担当者名	谷口 大介
	施策の柱	70	後継者の育成			所属班	農政班	(内線)	5223
予算科目	会計一般	款 6	項 1	目 8	事業連番 10276	根拠法令			
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 2年度で終了 <input type="checkbox"/> 2年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	農業・農村理解のため米作り・稲刈り体験活動支援事業食育の重要性についてあらゆる場面で言及される機会が多くなってきている。子どもたちの教育として大変重要と考えている。
【業務の流れ】	J A 菊池青年部及びPTA主催による市内4小学校児童の田植え、刈取り体験に対する事業費の補助金支払い事務(申請書の確認、起案、決裁)
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】	子どもたちの教育として大変重要と考えている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 2年度実績(2年度に行った主な活動)(DO)	小学生への農業体験機会をつくるため、稲作体験活動の実施団体(2団体)に対し、補助金を交付した。	3年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
		J A 合志中央支所青壮年部及びPTAからの事業申請受付から補助金確定までの一連事務
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由
→ ア: 補助金交付件数	イ:	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市内小学生	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
		(単位) 校
		→ ア: 米作り活動を実施した学校数
		イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	・稲作体験を通じて、農業、農作物、食料について学習する機会を提供する。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
		(単位) %
		→ ア: 学習の機会を得た児童の割合
		イ:
*③成果指標設定の理由と3年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
主催側の小学校及び学年の指定のため。		全体計画
		~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	30年度実績(決算)	31年度実績(決算)	2年度目標(当初予算)	2年度実績(決算)	3年度目標(当初予算)	4年度予定	5年度見込	6年度見込
① 活動指標	ア 件	イ	2	2	2	2	2	2	2	2
② 対象指標	ア 校	イ	4	2	4	2	4	4	4	4
③ 成果指標	ア %	イ	16	10.75	14	3.73	14	14	14	14
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	147	140	140	140	140	140	140	140
	(A) 事業費計	千円	147	140	140	140	140	140	140	140
人件費	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	正規職員従事人数	人	2	1	2	2	2	2	2	2
	延べ業務時間	時間	15	5	40	120	40	40	40	40
	(B)人件費計	千円	59	19	159	473	159	159	159	159
	トータルコスト(A)+(B)	千円	206	159	299	613	299	299	299	299

事務事業名	小学生稲作体験助成事業	所属部	産業振興部	所属課	農政課
-------	-------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は2年度の事後評価、ただし複数年度事業は2年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 2年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	② 3年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 申請がある見込みのため
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 現在の体験回数を増やすためには、体験圃場等の問題もあり、現在の規模が適当であるため。また、決まった学年での定例行事であれば殆どの生徒が一度は稲作を経験することとなる。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 稲作体験を引き受けてくれる団体がない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 現在地域の子ども会等で体験学習を実施しているところもあるが、水田(圃場)の借り上げ・肥培管理等の課題もあり実施にいたっていない。
	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 補助金交付事務で必要最小限である。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 体験を希望している小学校には、事業が行き渡っているため。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市の基幹産業である農業について、子ども達に理解を促すこの事業は行政が行うにふさわしい事業である

3 評価結果の総括 (CHECK)

例年通りの事業を行うことができた

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>																						